

評価対象	評価項目	具体的教員項目		方策	肯定的意見の割合[%]				肯定的意見の割合[%]					
		保護者	教職員		保護者	生徒	職員	A・B・C・D	保護者	生徒	職員	A・B・C・D		
I 安心・安全で保護者や地域から信頼される学校	【学校経営方針の共有、学校の教育活動の発信】 授業参観、学校便り、学年・学級通信、ホームページ等、様々な手段を通じ、学校経営方針や教育活動を発信し、学校の様子を伝えている。	保護者	学校は、授業参観、学校便り、学年・学級通信、ホームページ等、様々な手段を通じ、学校経営方針、生徒や学校の様子をよく知らせている。	授業参観等の学校公開、学校行事の公開、学校からの便りや通知・ホームページ等で学校や子どもたちの様子を知らせる。	84.6	100.0	B	A	95.6	95.7	A	A		
	教職員	授業参観、学校便り、学年・学級通信、ホームページ等、様々な手段を通じ、学校経営方針、生徒や学校の様子を積極的に発信している。												
	【安心・安全な学校】 毎月の安全点検を行い、生徒自身の危機の予測・未然防止の意識を高める指導を行っている。	保護者	学校は、安全の観点からの学校施設の安全点検や生徒の安全意識を高める指導（学級活動での災害や事件・事故などの指導、防災避難訓練、交通安全教室等）に取り組んでいる。	学校の施設及び設備の安全点検、通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導をまめ細かに行う。日頃から事故等の未然防止や事故等発生時、また事後における対応に関して、適切な対応を組織的に講じられるようにしておく。危機管理マニュアルはP D C Aサイクルの中で、訓練、評価、改善を繰り返し実効性のあるものにしていく。	80.0	96.6	95.7	B	A	90.0	96.7	100.0	A	A
生徒	学級活動での災害や事件・事故などへの指導、防災避難訓練、交通安全教室等から、緊急事態(災害や事件・事故など)が発生したとき、自ら安全を考えた行動をとることができる。													
教職員	毎月の安全点検を行ったり、生徒自身の危機の予測・未然防止の意識を高める指導を行ったりしている。													
【保護者や地域から信頼される学校】 保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。	保護者	学校は、保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。	保護者等からの声に迅速にそして丁寧に誠実に応えていく。特に初期対応については組織として迅速に行う。	80.0	95.7	B	A	90.1	91.3	A	A			
	教職員	保護者等からの声に誠実に応え、よりよい関係を築き、信頼される学校づくりを推進している。												
II 自ら意欲的に学び、正しく判断できる生徒(知)かしこさ	【自ら考え追究する授業】 課題に対して、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く学習に取り組むことができるような授業を行っている。	生徒	課題に対して、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く学習に取り組んでいる。	問題意識が高まる課題づくり、根拠をもとに筋道を立てて考えを表現させる指導の工夫、わかった・できたを実感するための場の設定を考え授業を実践していく。	87.9	90.5	A	A	86.5	95.2	A	A		
	教職員	課題に対して、どのように解決したらよいかを考え、粘り強く学習に取り組むことができるような授業を行っている。												
	【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善】 「はばブラII」に示されるような問題解決的な授業づくりを実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている。	生徒	授業では、興味や関心が高まった、お互いの考えを比較したり、自分の思いや考えと結び付けたりする活動を行っている。	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。 「はばたく群馬の指導プランII」で提唱されている授業の実践。	92.8	90.5	A	A	91.0	90.5	A	A		
	教職員	「はばブラII」に示されるような問題解決的な授業づくりを実践し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っている。												
	【ICTを活用した教育活動】 生徒ひとり一台端末活用のためのルールづくりやICTリテラシーの向上、各教科等においてICT活用を進めている。	保護者	学校は、生徒ひとり一台端末活用のためのルールづくりやICTリテラシーの向上、授業等においてひとり一台端末を活用している。	G I G Aスクール構想を踏まえ、生徒ひとり一台端末の活用、生徒がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成する。あわせて、実際の授業でのより有効的な活用法等を研修していく。また、端末の持ち帰り、家庭でのより有効的な利用を推進していく。	92.3	95.4	100.0	A	A	93.9	95.1	100.0	A	A
	生徒	ひとり一台端末活用のためのルールづくりやICTリテラシーの学習、授業等においてひとり一台端末を活用している。												
	教職員	生徒ひとり一台端末活用のためのルールづくりやICTリテラシーの育成、各教科等においてICT活用を実践している。												
	【キャリア教育の推進】 生徒自ら自分自身を振り返り、将来に向けて自身の姿容や成長を自己評価したりする活動を通して、生徒が自分のこれからの生き方について考えていると答える教職員や保護者・生徒が80%以上である。	保護者	学校は、生徒がこれまでの考え方や生き方を振り返り、自分のこれからの生き方について考える学習を行っている。	将来を見据え、自己の生き方を真剣に考える進路指導、生徒自ら目的を持った進路選択、自己実現への過程を大事にするきめ細やかなキャリア教育を推進する。	77.4	86.7	85.7	B	A	88.4	86.9	90.5	A	A
	生徒	これまでの自分の考え方や生き方を振り返り、自分のこれからの生き方について考えることができる。												
教職員	生徒自ら自分自身を振り返り、将来に向けて自身の姿容や成長を自己評価したりする活動を通して、生徒が自分のこれからの生き方について考えることができるような学習を実践している。													
【生徒主体の生徒会活動】 生徒主体の生徒会活動を推進する。よりよい学校をめざし、生徒が自ら学校生活等を見直し、自ら正しく判断し行動できると答える教職員や保護者・生徒が80%以上である。	保護者	学校は、生徒主体の生徒会活動を大切に、よりよい学校をめざし、生徒が自ら学校生活等を見直し、自ら正しく判断し行動できるようにしている。	生徒主体の生徒会活動の機会をしっかりと確保する。そこで、よりよい学校をめざし、生徒が自ら学校生活等を見直し、自ら正しく判断し行動できるような資質を高めていく。	86.7	90.1	95.7	A	A	92.8	90.6	95.7	A	A	
生徒	生徒が自ら学校生活等を見直し、自ら正しく判断し行動できる。													
教職員	生徒主体の生徒会活動を推進する。よりよい学校をめざし、生徒が自ら学校生活等を見直し、自ら正しく判断し行動できるように支援している。													

III思いやりと感謝の心を持ち、主体的に行動できる生徒(徳)やさしさ	【生徒が主体となって運営するさまざまな行事や活動の重視】 生徒が主体となって運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わわせている。	生徒が主体となって運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わわせていると答える教職員や保護者・生徒が80%以上である。	保護者 学校は、生徒が主体となって運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わわせている。	生徒 自分たち主体となって運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わっている。	教職員 生徒が主体となって運営する行事や活動を通して、達成感や充実感を味わわせている。	行事や活動のなかで、生徒が主体的に関われる部分については、生徒自ら考えさせ、生徒自身が達成感や充実感を味わえるようにしている。	91.8	93.9	100.0	A	A	93.9	93.1	100.0	A	A
	【一体感、達成感、充実感など、感動を味わう学校行事の創造】 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めていると答える教職員や保護者・生徒が80%以上である。	体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	保護者 学校は、体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事を行う中で、生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	生徒 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	教職員 体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事の中で生徒が力を合わせ、互いの絆を深めている。	学校行事(体育大会、合唱大会、林間学校・スキー教室・修学旅行などの行事)の中で、生徒自身が作り上げる行事を通して、感動をともにする体験をし、生徒が力を合わせ、互いの絆を深められるように支援する。	94.3	93.9	95.7	A	A	97.3	98.4	100.0	A	A
	【全教職員で取り組む、考え議論する道徳教育】 全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしていると答える教職員や保護者・生徒が80%以上である。	全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしている。	保護者 学校は、学級担任だけでなく学年職員で道徳の授業に関わり、学校全体で生徒の道徳性を育成している。	生徒 道徳の授業の中で、様々なテーマについて考えたり友達の意見を聴いたりすることで自分の生き方について考えている。	教職員 全教職員で道徳の授業の指導体制を整え、教材研究・授業実践を深め、考え議論する道徳授業展開の工夫をしている。	全職員の意識が「考え、議論する道徳」に向かうように、いつでもお互いの授業が見られる体制を整えること、定期的に授業研究会を行い授業後には振り返りの時間を確保する。	84.1	94.6	100.0	A	A	86.7	93.9	90.5	A	A
【基本的な生活習慣、礼儀やマナーの確立】 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、生徒自身が主体的に規律を守ることができるように指導している。	あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、生徒自身が主体的に規律を守ることができるように指導している。	保護者 学校は、あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、生徒自身が主体的に規律を守ることができるように指導している。	生徒 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、どのような言動が適切なのかを自ら考え行動している。	教職員 あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、生徒自身が主体的に規律を守ることができるように指導している。	生徒指導委員会での共通理解を全職員へ周知し、あいさつや言葉遣い、身だしなみ等の基本的な生活習慣について、生徒自身が主体的に規律を守ることができるように指導する。	90.2	92.8	91.3	A	A	96.6	91.2	91.3	A	A	
IVあかるく健康で活力ある生徒(体)たくましさ	【学校・学級での居場所づくりの工夫】 学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫していると答える教職員や保護者・生徒が90%以上である。	保護者 学校は、学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	生徒 学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所となっている。	教職員 学校・学級が楽しく、心地よく生活できるような居場所づくりを工夫している。	学校行事を通して、生徒が安心して過ごせたり、自己存在感や充実感を感じられたりする「居場所づくり」を行う。学級経営においては、集団に支えられて個が育ち、個の成長が集団を発展させるという相互作用を生かした指導・支援に取り組む。	79.4	89.0	100.0	B	A	90.1	88.2	100.0	A	A
	【仲間とともに困難を乗り越えることのできる生徒の育成】 一人ではうまくいかなくても、仲間と力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒を育成している。	一人ではうまくいかなくても、仲間と力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒を育成している。	保護者 学校は、仲間とともに力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒の育成に努めている。	生徒 一人ではうまくいかなくても、仲間とともに力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒の育成に努めている。	教職員 仲間とともに力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒の育成に努めている。	様々な場面において、仲間と力を合わせることで、困難を乗り越えることのできる生徒の育成に努める。	84.1	93.5	100.0	A	A	90.6	93.1	100.0	A	A
	【気になる生徒、特定の生徒へのチーム支援】 教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	保護者 学校は、ハッピースマイルプラン、相談室、ほっとルーム、スクールカウンセラーなどをはじめ、不安や悩みを相談できる機会を設け、親身になって応えている。	生徒 ハッピースマイルプラン、相談室、ほっとルーム、スクールカウンセラーなどを始め、不安や悩みを相談できる機会がある。また、相談したときは親身になって応えてくれる。	教職員 教育相談や生徒指導など、生徒の気になる様子を見逃すことなく、組織として対応している。	不登校や問題行動等の配慮の必要な生徒に関する情報交換を密にし、対策についても協議し、組織として対応していく。	79.5	85.1	100.0	B	A	86.1	84.0	100.0	A	A
【生徒の自主性を生かした部活動の運営】 顧問の指導の下、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	顧問の指導の下、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	保護者 学校は、顧問の指導の下、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	生徒 自分たちの自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	教職員 顧問の指導の下、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して主体的に活動している。	顧問の指導の下、生徒の自主性を生かした部活動を行い、各々が工夫して活動する。また、保護者へ部活動の在り方の理解を得る機会を増やしていく。	77.5	92.0	100.0	B	A	13.8	91.0	95.2	A	A	